

京都モデルフォレスト運動

京都府では、森林の恵みを受けているすべての府民の参画と協働により、みんなの貴重な財産である京都の森林を守り育てる「京都モデルフォレスト運動」を進めています。このモデルフォレストとは、1992年の世界地球サミットでカナダが提唱したのが始まりで、地域ぐるみで行う森林を核とした持続的な地域づくり活動のことです。現在、世界各国で取り組まれています。

京都府では、平成18年11月にこの運動の推進主体となる「社団法人京都モデルフォレスト協会」を設立。南丹市もこの協会の趣旨に賛同し、正会員になっています。そして、現在、南丹市内ではモデル



▲美山町内での下刈り (モデルフォレスト運動の一環)

南丹市のモデルフォレスト運動 (表)

協定調印者	締結日	活動場所
三共精機株式会社、佛教大学 みやわきBilly、京都府、南丹市 京都モデルフォレスト協会	平成20年 2月5日	美山町宮脇地区の 森林205 ^{ヘクタール}
三洋電機株式会社、三洋電機労働組合 知井振興会、京都府、南丹市 京都モデルフォレスト協会	平成20年 5月22日	美山町中地区の森 林7 ^{ヘクタール}
株式会社島津製作所 八木町観光協会、京都府、南丹市 京都モデルフォレスト協会	平成20年 8月4日	八木町玉ノ井地区 の森林約52 ^{ヘクタール}

ルフォレスト運動推進のため、地域や企業・団体、行政などが連携して森林保全活動を進める協定が3つ締結されています。(左表) それぞれ、地域と連携をとりながら、植樹や下刈りなどの活動、交流や環境学習など積極的に行われています。

京都モデルフォレスト協会には、団体などに限らず、森づくりに関心のある方ならどなたでも会員になることができます。京都の森を元気にする活動に取り組んでいた方、興味のある方は、協会へお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

(社) 京都モデルフォレスト協会

(京都府庁林務課内)

Tel 075-414-1270

URL <http://www.kyoto-model>

forest.jp

「木づかい運動」

10月は林野庁が定める「木づかい推進月間」として、全国でフェアや展示会などが行われました。

「木づかい」とは、暮らしに国産材の製品をどんどん取り入れて森を育てるエコ活動です。木材は人と環境に優しいとされ、地元の木を利用することで、地域の林業や木材産業の活性化につながります。

南丹地域でも、「南丹・京丹波木材まつり2008」として、各地で「木づかい」をテーマにした催しを展開しました。木質ペレットを製造する移動式ペレタイザの実演、ペレットストーブの展示、木材展示記念市、木製楽器に



▲ペレットストーブの展示 (冬支度ペレット祭り)

よる音楽会など、多彩な内容で、訪れた方々に木の活用や取り組みについて紹介しました。

また、地元の木を使った家の見学会なども行われました。地元の木を使うことは、その風土で育てているので適しているといわれます。木材は湿度を調節し、やわらかで心地よい安らぎを与えてくれます。

市の木「ぶな」

南丹市は、市の花・木・鳥を市民の皆さんから公募し、今年4月に制定しました。

市の花は、「さくら」。市の木は、「ぶな」。市の鳥は、「オオルリ」。いずれもふるさとの美し